

# 事業概要シート

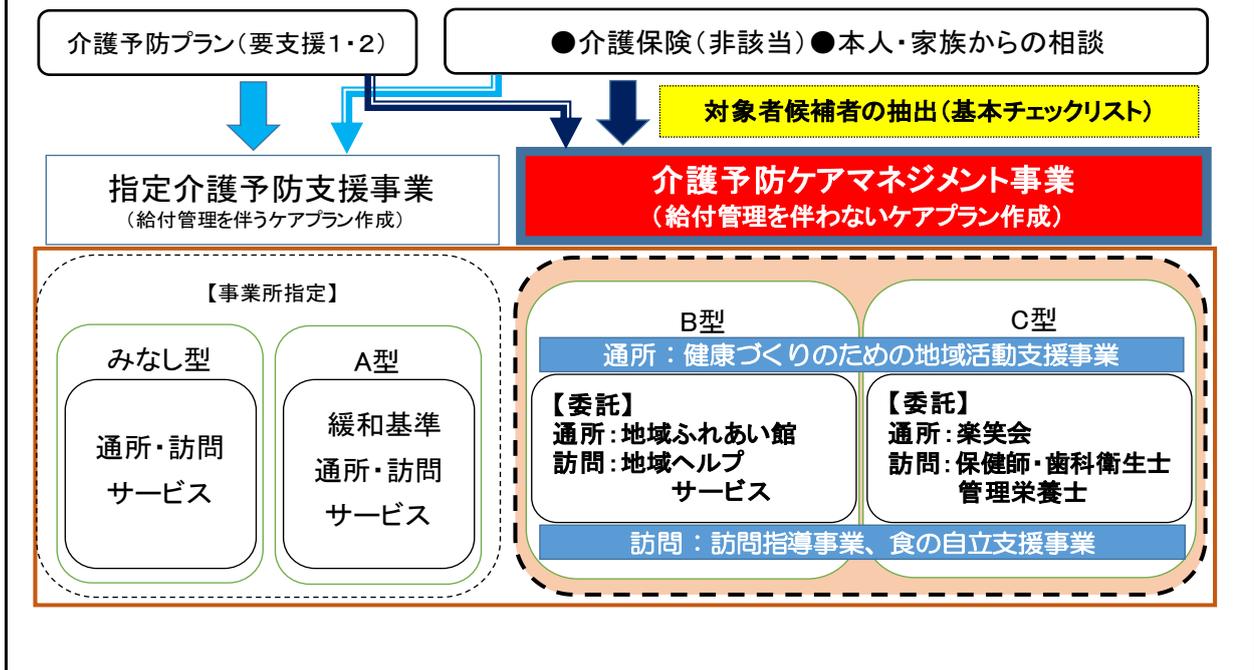
施策 0602 高齢者の生きがいくつくりと介護予防の推進 《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計  
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。  
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	介護予防ケアマネジメント事業	現状維持	予算額	3,749 千円
			《 3,457 》千円	
事業期間	平成18年度 ~	財源内訳	国庫支出金	936 千円
根拠法令要綱等	介護保険法地域支援事業実施要綱		県支出金	468 千円
			地方債	0 千円
			その他	1,017 千円
			一般財源	1,328 千円

## 【事業の目的・概要・対象】

- ◆事業の目的  
介護予防と自立支援の視点を踏まえ、対象者の心身の状況、対象者が置かれている環境その他の状況に応じて、対象者自らの選択に基づきサービスが効率的に実施されるよう、専門的な視点から、必要な援助を行う。
- ◆事業の概要  
基本チェックリスト該当者に対して、総合事業により介護予防ケアマネジメントプラン作成の給付管理を行わない者を対象として、必要な介護予防・生活支援サービスへつなげる。
- ◆対象  
介護保険非該当または未申請の者で基本チェックリスト該当者、病弱や閉じこもりなど、短期間に集中的な保健指導が必要な者。または医療やその他の必要な社会資源につなぐ必要のある者。

## 【介護予防・日常生活支援総合事業】



## 【背景】

要支援の認定者数は増加傾向にあり、介護度別の認定者数では、要支援1の認定者数の伸びが著しく、今後、団塊の世代が75歳以上となる2025年には約1.9倍に達すると見込まれている。今後ますます、総合事業における高齢者の介護予防に資するサービス整備等が重要となる。

担当課	福祉保健部長寿介護課	課長	角野 章子
担当者	森 ふみ	問合せ先	0957-53 - 8141 (内線205)

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	基本チェックリスト該当者	計画値 件	72	82	33	33	33
②		計画値					

### 【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	介護予防ケアマネジメントプラン件数	計画値 件	62	72	23	23	23
②		計画値					

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	628	3,475	3,457	3,749	3,749	3,749	18,807
国庫支出金	150	876	863	936	936	936	4,697
県支出金	74	433	431	468	468	468	2,342
地方債							0
その他	197	943	939	1,017	1,017	1,017	5,130
一般財源	207	1,223	1,224	1,328	1,328	1,328	6,638
人件費	1,309	2,182	2,254	2,254	2,254	2,254	12,508
職員(人)	0.18人	0.30人	0.31人	0.31人	0.31人	0.31人	1.72人
時間外勤務(h)							0h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	1,937	5,657	5,711	6,003	6,003	6,003	31,315

妥当性 (市の関与)	高齢者が住み慣れた地域で自立して生活していくためには、自助力を高め、早くからの介護予防を取り入れることは必要である。行政が主体的に総合事業に取り組み、生活支援、介護予防の充実に努めることは必須である。
有効性 (施策貢献度)	高齢者の生活機能は、これまで生活してきた家庭、地域の環境で培われてきており、生活機能を向上させるための支援は、住み慣れた地域において提供されることによってより高い効果が期待できる。
効率性 (コスト)	他事業に配置している専門職と協同し事業を遂行するなど効率的に実施しており、コスト削減の余地はない。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり